

第二六七回松山市観光俳句ポスト

第二六七回開函

「紅日」主宰 三好 曲 選

特選三句

軋み行く路面電車や梅雨晴間
兵庫県神戸市 秋山 弘之

墨色の子規の横顔五月闇
神奈川県横浜市 土屋 忠之

濃紫陽花愚陀佛庵は石碑のみ
兵庫県神戸市 中田 早智子

入選二十句

秋高し何処からも城見ゆる町
広島県安芸郡 今井 洋子

坂多き伊予の道後の青葉風
山口県長門市 青海 隆司

草田男の墓へ十五歩花みかん
東京都東村山市 加藤 照枝

ばらの花浮く温泉にもてなされ
愛媛県西予市 川崎 貞江

はるか来て坊っちゃん湯に汗流す
和歌山県和歌山市 小阪 克彦

蝉の声松山城にこだまして
大分県中津市 小林 芳子

チンドン屋いと軽やかに夏を舞ふ
大阪府守口市 鈴木 喜代次

樟若葉全山かくし寺かくす
兵庫県神戸市 高橋 耕子

秋風の三坂峠を越えて来ぬ

高知県須崎市 徳永 逸夫

梅雨ぐもり朝の太鼓の低く鳴る

兵庫県神戸市 細野 恵久

湯の町の駅舎に育つつばくらめ

愛媛県伊予郡 三好 弘子

頼まれて切るシャッターや城青葉

愛媛県宇和島市 村重 瑠璃子

露天の湯満月照らす松山城

滋賀県草津市 森 利之

子規絶筆読んで涼しき風に会ふ

千葉県佐倉市 安田 三代子

小鳥鳴く梅雨の晴間の松山城

愛知県名古屋市 山田 能子

(市内)

遍路笠脱げば乙女や南無大師

愛媛県松山市 鹿島 一志

咲き揃ふ睡蓮揺らし風渡る

愛媛県松山市 正宗 美根子

ぶらり来て巡る湯の町藍浴衣

愛媛県松山市 山田 久栄

(十五歳以下)

石手寺の仏にとまるオニヤンマ

愛媛県松山市 安部 翔太郎

薰風に機音響くかすり部屋

愛媛県松山市 武田 浩太郎

投句総数

九〇〇

市外

六八四

市内

二一六

投句者総数

五四一

市外

四二六

市内

一一五

開函日 平成二十六年七月三十一日